

輝く未来に向かう体験的な活動を重視した環境教育の推進 ～地域を生かし、地域等と連携した取組を通して～

地域の豊かな自然環境、近隣企業、市の施設等を活用した地域と連携する環境教育を平成23年度から生活科、総合的な学習の時間、特別活動を中心に推進。①自然・生命、では、「緑いっぱい・植物いっぱい」を合い言葉に多種の植物を育て地域の人と一緒に楽しむ場を設定。②ごみ・資源、エネルギー等に関しては、近隣10企業の温暖化防止策の工夫を知り伝え、校内節電運動にも取り組み、市内小中学校全校中、全日の電気使用量削減1位を獲得。



6000本向日葵迷路



芝生の絨毯活動・464鉢栽培



大きなカボチャ栽培



1000m²菜の花畠